



沖縄サザンクロスゴルフ場でプレーの山内委員長

## もっと広い心を持てる日本に ひどい目に遭う高齢者の方々

経営改革委員会委員長 山内 伸



4回目のメールとなりました。締め切りの迫った作家の苦しみかわかる気がします。

さて、昨年の経営改革委員会は何をしていたのでしようか。

〈消費税プロジェクト〉は全日遊連から発信された貸玉料金、遊技料金、消費税理論にかき回された一年だったような…？

〈店外オンラインプロジェクト〉〈危機管理プロジェクト〉は道が出来つつあります。詳しくは委員会報告で発表します。

委員会活動報告はここまでとし、今回は雑感とします。

人生60年を過ぎると周囲も老人の世界となつてまいります。最近こんな事がありました。

鹿児島に住んでいる今年94歳となった伯母をお見舞いに行った時です。足が悪くて一人で生活するのが困難となり、ここが終の棲家となることを覚悟して介護老人保健施設へ入所しました。幸い認知症ではないので、施設の対応が気になると涙ぐみながらの話となりました。介護師や看護師の対応が人としての尊厳を傷つけることもあり、思いやりに欠けた対応に憤

りを感じました。

最近のニュースでは東南アジアから来ている看護師が介護福祉士試験で言葉の壁に阻まれ大変苦労している。勤務している病院

では彼女の素晴らしいことに全員で協力をしているが、試験結果は芳しくなかったようです。

どうして、日本では、外国人を受け入れないのでしょうか？少子高齢化の時代にある今、優秀な（優しさを持ち合わせた）人材をもっと受け入れるべきだと思います。いつ自分の家族が、また自分が同じ境遇にならないとも限らないわけです。

私の母も今年90歳となります。現在認知症が進んできており、壊れた蓄音機の状態で遠く鹿児島に一人暮らしです。生まれ育った故郷を離れようとしないのでしかたが無いのですが、考えなければならぬ時期にきています。過去には、人の良さに漬け込まれ、たびたびリフォーム詐欺にもあつてきました。隣人との付き合いが薄いので気づいてくれる人もなかったようです。

振込め詐欺も終わることはあり

ません。福岡では暴力団の拳銃発砲により一般市民が亡くなっています。我が業界を見ても「自分だけが」と他人を思いやる気持ちが



なくなっています。

私が学生時代に修行した少林寺拳法の精神に「半ばは他人の幸せを半ばは我が身の幸せを」という言葉があります。みんながこの気持ちを持てば幸せな日本になると思っております！

日遊協では社会貢献ボランティアが行なわれています。さらに介護に目を向けることで目指す公益社会法人への道も開けるのではないかと思っております。